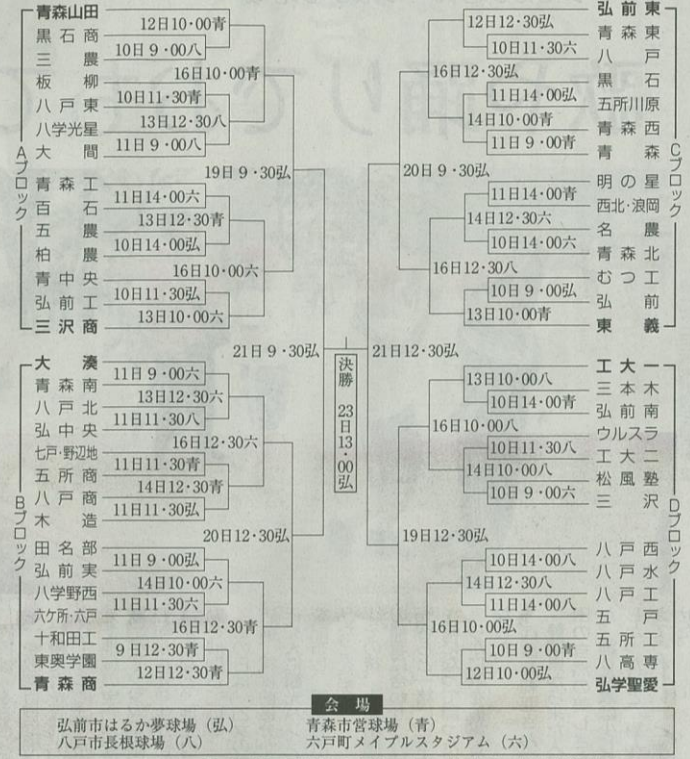


第101回全国高校野球選手権青森大会組み合わせ (参加校=57チーム 太字はシード)



光星と青森山田同ブロック 勝ち進めば3回戦で激突

高校野球青森大会 来月9日開幕

第101回全国高校野球選手権青森大会は、1回戦でAブロックの青森山田と秋、春の県王者青森山田が対戦。春季県大会優勝の青森山田は、1回戦で「黒い砲台」初戦は2回戦で、「青森中央」の強豪と対戦。Bブロックは春季県4位の青森商、同8強の大濠を中核に、実力のある県立高がそろった大会開幕試合は、十和田工と東奥学園の1回戦となった。

Cブロックは春季県3位の弘前東、8強の東義を中心とした争い。Aブロックは青森と、むつ工は弘前と1回戦で対戦する。Dブロックは14チーム中10チームが県南地方勢。シード校の工大は2回戦で、1回戦で青森商、同8強の大濠を中核に、実力のある県立高がそろった大会開幕試合は、十和田工と東奥学園の1回戦となった。

選手宣誓は、希望するが

チームの主将から抽選した結果、三沢の西山悠翔主将に決定した。

昨年までブロックごとに球場が決まっていたが、今年は初めて、県高野球対戦カードごとに、昨秋と今年の大会結果などを参考に球場を割り振った。県高野連担当者は、新たな試みについて「学校の移動費の負担や、応援に来る方の負担を考慮した」と説明した。

(林泰輔)



武岡主将「一戦必勝」
 ○：昨秋の東北大会を制し、今春のセンバツに出場した八学光星が、春の県大会は2回戦で青森山田に敗れたため、3年ぶりにAブロックからのスタート。

抽選に臨む、八学光星の武岡龍世主将

七戸野辺地

「一戦必勝」
 ○：春の県大会を制した八学光星だが、春季県大会は2回戦で青森山田に敗れたため、3年ぶりにAブロックからのスタート。

武岡龍世主将は「Aブロックは、静かに闘志を燃やした。一、八戸地区唯一のシード校となった工大へは、春の東北王者・弘学聖愛と同じブロックへ、胸ヶ嶺健志主将は「自分たちが練習してきたことを出し切りたい」と語り、一甲子園を目指して戦い抜くと力強く誓った。